

科目分類	助産学基礎科目	開講時期	1年	前期		
授業科目	周産期医学Ⅰ（産科領域）					
選択／必修	必修	単位数（時間数）	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	金嶋 光夫					
メールアドレス	教務学生課を窓口とする	オフィスアワー	教務学生課を窓口とする			

授業目的	<p>1) 生殖器の形態・機能的特性について理解できる</p> <p>2) 女性の性周期における調節機能と妊娠の成立機序・維持機能について理解できる</p> <p>3) ヒトにおける性分化と胎児の成長発達について理解できる</p> <p>4) 妊娠・分娩・産褥の生理的変化と異常について理解できる</p>
授業概要	<p>助産診断・技術を実践する上で必要となる生殖器の形態・機能と周産期（妊娠・分娩・産褥・胎児）の病態生理について基礎的知識を学ぶ。</p>
授業内容	<p>第1回 生殖器の形態・機能的特性 ：生殖にかかわる形態的特徴、生殖生理に関する視床下部一下垂体機能、 卵巣機能</p> <p>第2回 妊娠の生理 ：妊娠の成立と維持、ホルモン動態、胎児の成長と発達、胎児付属物、 妊娠による母体の変化</p> <p>第3回 妊娠による母体の変化 ：妊娠経過に応じた母体の変化と正常な妊娠経過</p> <p>第4回 妊娠期の異常 ：妊娠期の異常、偶発疾患合併妊娠、母子感染症</p> <p>第5回 分娩の生理 ：分娩の定義、分娩3要素・分娩機序、分娩が母体と胎児に及ぼす影響</p> <p>第6回 分娩の異常（産科手術および産科医療処置を含む） ：分娩の3要素の異常、分娩に伴う損傷・偶発疾患・合併症</p> <p>第7回 産褥期の生理 ：産褥期の身体的変化、乳汁分泌の生理</p> <p>第8回 産褥期の異常 ：産褥期の異常出血、産褥期感染症、血栓症・塞栓症、乳房・乳腺異常、 乳汁分泌異常、妊娠高血圧症行群後遺症、産褥期の精神的な問題（マタニティブルー・産後うつ、産褥精神疾患）</p>
教科書 参考書等	<p>教科書：助産学講座2 母子の基礎科学 第6版. 医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ 妊娠期 第6版. 医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ 分娩期・産褥期 第6版. 医学書院</p> <p>参考書：授業内で適宜紹介する。</p>

成績評価 基準・方法	筆記試験 100%
履修要件	特になし
留意事項 その他	助産学の基礎的知識であり、実践をするにあたり、身につけておかななくてはならない科目です。そのため、事前学習・復習は不可欠です。 本科目を修得していないと、助産学実習ⅠⅡⅢⅣは履修できません。